

今年生誕
500年を
迎える

知っどる?

穴戸隆家

(1518~1592)

どんな人??



戦 国時代初頭、安芸毛利氏と隣接した甲立荘の領主だった安芸穴戸氏。毛利氏と対立した時期もありましたが、毛利元就の娘と穴戸隆家の婚姻を機に両氏は同盟を結びました。それ以降、隆家は毛利家の一門としての地位を確立し、**毛利一族の4本目の矢として元就の飛躍を支えてきました。**今年はその隆家が誕生して500年。それを記念して穴戸氏をテーマにした企画展を初開催します。重要文化財8点を含む穴戸氏に関する貴重な資料を展示するほか、期間中の土曜日11時から学芸員による展示解説も実施。穴戸氏の歴史を深掘する魅力的な関連イベントもたっぷり開催します。毛利氏中心の歴史とは一味違う、もうひとつの安芸高田の戦国史をお楽しみください。

歴史民俗博物館企画展

穴戸隆家生誕500年記念

安芸穴戸氏 ~毛利一族、四本目の矢~

〈開催期間〉10月27日(土)~12月9日(日) 9時~17時
※月曜(休館日)を除く
〈場所〉歴史民俗博物館(吉田町吉田278-1)
〈入館料〉大人300円、小中学生150円 〈問い合わせ〉☎42-0070

まだまだあるよ
穴戸氏関連
イベント情報

公開講座「戦国期の穴戸氏と毛利氏」

日時/11月18日(日)13時~15時30分
会場/甲田文化センターミュージズ(甲田町高田原1446-3)
講師/秋山伸隆氏(県立広島大学宮島学センター 特任教授)
貫心流(穴戸家後祖)至誠会による剣術演武もあり
申込/不要 参加費/無料



貫心流至誠会による剣術演武

公開講座「穴戸司箭の実像を探る」

日時/12月2日(日)13時30分~15時30分
会場/クリスタルアージュ(吉田町吉田761)
講師/末柄豊氏(東京大学史料編纂所准教授)
申込/11月18日(日)より受付開始 参加費/無料

ロビートーク「前期穴戸氏を語る」

日時/12月8日(土)14時~15時30分
会場/歴史民俗博物館(吉田町吉田278-1)
語り手/吉野健志氏(東広島市教育委員会)
申込/不要 参加費/無料

探訪ツアーI 「バスで巡る穴戸氏ゆかりの地」

日時/11月10日(土)13時30分~17時
見学地/穴戸元家墓~穴戸元源墓・柳ヶ城跡~
天叟寺跡・穴戸隆家墓
案内/秋本哲治(安芸高田市教育委員会)
申込/10月16日(火)より受付開始
参加費/2,000円
定員/20名 ※定員になり次第受付終了



探訪ツアーII 「五龍城跡を歩く」

日時/11月24日(土)13時30分~16時
見学地/五龍城跡
(集合場所:甲田文化センターミュージズ)
案内/秋本哲治(安芸高田市教育委員会)
申込/10月30日(火)より受付開始
参加費/無料
定員/20名



安芸高田

歴史紀行

シリーズ「お城拝見!」第80回
~戦国期の石垣が残存~

天叟寺・穴戸隆家墓所

《甲田町上甲立》



安芸高田市教育委員会
文化財係専門員
秋本 哲治



穴戸隆家墓所(左隣は隆家継室の墓)



天叟寺跡に残る大規模な石垣

今年2018年は、戦国武将穴戸隆家の生誕500年にあたります。それを記念して企画展など様々なイベントを開催しますが、今回は城跡の石垣を思わせる隆家ゆかりの史跡を紹介します。

天叟寺・隆家墓所
戦国時代に安芸穴戸氏当主であった穴戸隆家は、天正20年(1592)2月5日に五龍城で亡くなったと伝わり(翌年とも伝わる)。その菩提寺として建立されたのが天叟寺です。現在、天叟寺跡の正面には大規模な石垣がよく残っています。一部に巨石を配して、自然石がほぼ垂直に積まれ、全長は35m、高さは約2mに及びます。

この寺跡の奥に残るのが穴戸隆家の墓所です。隆家は毛利元就の娘と結婚しましたが、この墓の隣にあるのは彼女の死後結婚した継室の墓です。

天叟寺は、江戸時代には穴戸氏とともに右田(現防府市)に移り、さらに後に三丘(現周南市)に移転し、貞昌寺となって現在に至ります。



五龍城に残る高さ2mの石垣

これは建立時の石垣と考えられています。穴戸氏の居城五龍城跡にも石垣が多用されており(最大で高さ2mの石垣も残る)、当時の穴戸氏の技術水準を伝えています。

伝隆家火葬場
天叟寺跡の向かいの山に、隆家の火葬場跡が伝わり、御灰塚と書かれた標石が残ると『甲田町誌』にありますが、地元の情報で半世紀ぶりに所在が判明しました。詳細は博物館の穴戸氏展で紹介します。



周辺の航空レーザー測量図



天叟寺位置図(国土地理院地図に加筆)

今回の舞台はここ!